



若林みきおの 議会だより

2009年10月発行
第4号
若林幹雄(東御市議会議員)
東御市滋野乙2724
Tel/Fax0268(62)2070
携帯:090-4728-0922

お元気ですか？

実りの秋です。秋は私たちに様々な顔を見せてくれます。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋等々…。あなたの秋はどの秋でしょうか。

今年はいつまでも梅雨が明けず長雨が続き、作物は日照不足になりました。幸いここに来て好天が続き作柄も持ち直してきましたが、温暖化による異常気象が私たちの生活にまで影を落としていると感じています。

先日の総選挙で政権交代が実現し鳩山政権が発足しました。国民の支持率は7割台と高率。新政権に対する期待感が現れています。しかし高速道路無料化などには批判的な意見もあり、財源問題など不安もあります。

今回の選挙の功績は「政治は変えることができる」ということを示したことです。「どうせ変わりっこない」と政治をあきらめていた若者に希望をもたらしたことではないでしょうか。

さて先日、地元の小学校と保育園の運動会に参加しました。子供たちの元気に圧倒されました。秋の一日、子供たちの成長を実感することができました。

しかし新聞報道によれば長野県は全国でも不登校がトップクラスだそうです。東御市でも少なからぬ子供たちが学校に行けず苦しんでいます。子供たちが生き生きと暮らせる環境を実現するために何が出来るか、何が必要か、皆さんとともに考えて行きたいと思えます。



目次

- ・1 お元気ですか？ 議員日誌
- ・2 9月議会—環境にやさしい生き方を！
- ・3 データで見る可燃ゴミ
東御市の借金は大丈夫、9月議会
- ・4 市民に開かれた議会をつくるために！



■ 「とうみ」がいちばん ■

このコラムでは東御市が一番のものを紹介しません。今回のテーマは「リサイクル率」です。

「混ぜればゴミ、分ければ資源」とよく言われます。ゴミ減量化のカギは分けることです。東御市は旧東部町の時代から分別収集とリサイクルに積極的に取り組んできました。

こうした努力が実り東御市のリサイクル率は32.1%と県下19市中第1位。一人当たりゴミ年間総排出量も253.5キロと最も少なく、第1位です。

しかし一番大切なことはゴミを出さないことです。最近お買い物に「マイバッグ」を持参する方が増えてきています。とてもいいことですね。



お困りごと相談所

お気軽にご相談ください。

0268(62)2070

議員日誌(7月号)

7月

4日は社会福祉大会。5・6日は東京で開催された財政講座に参加。8日は学校ボランティアで子供達と竹馬で遊び、午後は議会広報委員会、10日は活性化委員会、13日は臨時議会がありました。この頃は農作業も一番忙しい時期です。巨峰の粒抜きに娘が応援に来てくれました。16日に砕石場問題で臼田の森林管理局を訪問、27日は議会改革委員会、29日は病院へ要望を語る会、31日は舞台が丘市民説明会に参加しました。

8月

1日は市民祭りに議員団として参加。5日は小諸市との議員研修会、6日は御牧原水道組合の議会に出席。10日は病院へ要望を語る会、13・14日は新盆見舞い。15日は成人式に参加。21日は活性化委員会の滋野地区内の視察。25日は一般質問のための情報収集、夜は婦恋線期成同盟会に出席。26日は議会研修会、28日上下水道の勉強会。30日の衆議院選挙で民主党が躍進し政権交代が実現。31日舞台が丘市民説明会に出席。

9月

1日から9月議会が始まりました。5日子育てフェスティバル、9日午後一般質問、11日総括質疑・補正予算成立、14～16日まで委員会質疑でした。14日からブドウの出荷が始まりました。19日は巨峰の王国祭。午後地域医療シンポジウムに参加。22日は金婚式祝賀会、24日は人權啓発センター運営委員会に出席。25日に議会が閉会。26日は滋野小学校運動会に出席。29日は市民病院への要望を語る会に参加しました。

■ 9月議会—環境にやさしい生き方を！



6月にゴミ堆肥化で滋賀県甲賀市を視察しました

今年の夏は地球温暖化の影響からかゲリラ豪雨が発生し全国各地に大きな被害をもたらしました。

そして梅雨がいつまでも明けず長雨に悩まされました。

いまこそ私達は環境に優しい生き方を考えるべき時です。自然環境を守りCO²削減に取り組まなければなりません。

そんなことから、9月議会でゴミ減量化への取組みと、農業振興と新規就農者支援について質問をしました。

ゴミ減量化・堆肥化への取組み

ゴミ減量のカギは生ゴミの堆肥化だ。
市民まかせでなく行政として進めるべきだ。

若林「ゴミ減量のための堆肥化は市長の今年の重点施策でもある。可燃ゴミの実態はどうか。ゴミ堆肥化についてどう考えるか」

市民生活部長「可燃ゴミにおける生ゴミの量は4割で、減量化のポイントは生ゴミの削減だ。この5年間コンポストや電気式生ゴミ処理機に補助してきたが、腐敗や虫の発生などの問題がある。堆肥にするには販売先やコストなどさらにハードルが高い」

若林「各家庭で生ゴミの堆肥化に取り組んでいるが悪臭や虫の発生などで断念する方が多い。市民まかせではなく行政が責任を持って進めるべき」

市民生活部長「今後信州大学と生ゴミの堆肥化について産学官で共同研究を進めたい」

若林「これから研究するというのではタイミング的にずれていないか」

市民生活部長「生ゴミの堆肥化をどのレベルまで行うかが課題だ。究極的には堆肥として農地還元できれば最高だ。それを含めて研究したい」

市長「出発してからの失敗は許されない。最善の方法を見出して行きたいのでしばらく猶予いただきたい」

農業振興と新規就農者支援

金融危機で農業担い手育成基金がピンチ。
新規就農者と里親への援助が必要だ。

若林「金融危機の影響で県の農業担い手育成基金(注1)が枯渇し、新規就農者への助成が止まっているがその影響はどうか。新規就農者を支援している里親制度(注2)の実態はどうか」

産業建設部長「産地維持と荒廃農地対策のため新規就農者を受入れており、現在研修生5名、新規就農者14名だ。市内ブドウ園の13%を栽培している。育成基金は平成21年度から休止となっている。市の援助制度を再検討したい。里親の皆様は日々献身的に取り組んでいただいているが負担も多く改善策を検討したい」

若林「新規就農が発展したのは、県の手厚い支援と就農者のために親身になって取り組んできた里親の存在がある。しかし最近経営不振や家族の高齢化などで里親制度の継続が困難になってきている。市長はどう考えるか」

市長「県の基金は現在凍結中であり一日も早い再開と減額の解除を要望している。市としてこの制度の補完や里親制度について考えて行きたい」

若林「Uターンや定年帰農者への支援はどうか」

産業建設部長「新規就農者だけでなく定年帰農者の相談窓口についてPRして行きたい」

(注1)【農業担い手育成基金】次代の農業を担う新規就農者を支援するため、県は市町村やJAと基金を設立。新規就農者に対し決め細かな助成をしてきた。しかし最近の金融危機で運用益が出なくなり、現在事業は停止されている。

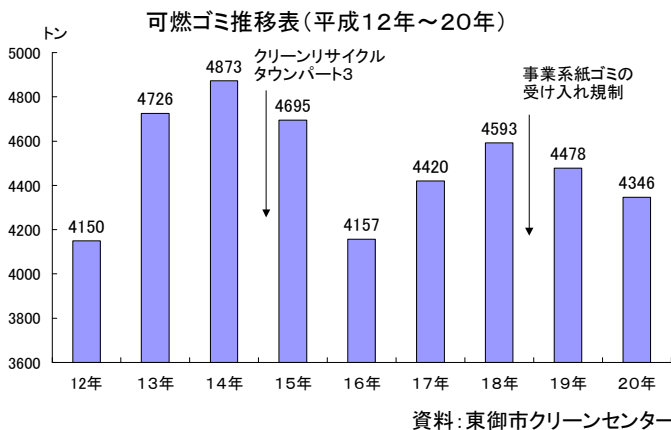
(注2)【里親制度】長野県は新規就農に理解のある熟練農業者を「里親」として登録、新規就農者に紹介し支援してきた。「里親」は技術習得から農地取得・住宅の確保など、営農から生活全般の支援まで相談にのっている。

■ データで見る可燃ゴミ

東御市の可燃ゴミの推移は下図の通りです。

可燃ゴミの量は基本的には右肩上がりに増えてきていますが、その中でゴミの量が減っている時が2回あります。平成15年と平成19年です。最初はゴミ袋を値上げした時で、後の方は事業系紙ゴミの受け入れ規制を行ったときです。

ゴミは何もしなければ増えるばかりです。東御市はこれまでその時々に応じて様々な取組みを行ってきました。いまこそ堆肥化への取組みが必要です。



■ 健全化判断比率とは？

市報とうみ10月号に市の財政が健全かどうかを示す健全化判断比率が掲載されました。これは夕張市の財政破綻を契機に発表が義務付けられたものです。そこで二つの比率について考えてみました。

● 実質公債費比率-16.0%(0.6%増)

私たちが借金する時まず考えるのは返済のことで、返済額が多いと生活が大変になります。そのため返済額が収入の何割になるかチェックします。これを行政では実質公債費比率といいます。公債費とは返済金のこと。基準では25%以下、すなわち返済額は年収の4分の1以下でなければなりません。

● 将来負担比率-109.4%(5.4%減)

次に考えるのは借入額です。借りすぎると今後の負担が大変です。このために借金の年収に対する割合をチェックします。行政では将来負担比率といいます。基準では350%、年収の3倍半以下です。

東御市はどの指標とも基準以下であり健全といえます。昨年は返済のピークだったため実質公債費比率は前年度比0.6%増となり、借金が減ったことから将来負担比率は5.4%減となっています。

9月
議会

平成20年決算承認—144億1300万円
平成21年補正予算成立—1億9600万円

9月議会は9月1日から25日まで開催されました。平成20年度一般会計・特別会計・企業会計の決算と平成21年度補正予算が上程され、それぞれ全員一致で承認されました。

私の所属する社会福祉委員会は子育て・病院・社会福祉など守備範囲が広く、3日間にわたり委員会審査を実施。八重原のディサービス「みはらしの郷」と海善寺の介護施設「愛和園」を視察しました。

政権交代の影響で助産院への補助金の執行が凍結され、来年春の開院が危ぶまれています。この補助金は市民生活に直結したものであり、議会として早期執行を求める意見書を政府に送付しました。

▼ 補正予算の主な内容

・ 柘津保育園改築設計委託料	1300万円
・ 子育て応援特別手当給付事業費	3346万円
・ 住宅手当緊急特別措置事業	491万円
・ 生ゴミ処理機補助金	220万円
・ 妊産婦検診事業費(超音波検診)	212万円
・ 農山村活性化プロジェクト支援交付金	4886万円
・ 東御市観光大使業務委託料	60万円
・ 道路後退用地整備事業費	562万円

■ 賛否分かれた30人学級の請願

9月議会ではほとんどの議案が全員一致でしたが、中学校に30人学級実現を求める請願では賛否が分かれました。私は中1ギャップ解消のため教師の加配を求める保護者の方々のお話を聞く機会があり、子供たちのためには少人数学級が必要だと感じていました。そんな立場から請願に賛成しましたが、賛同が得られず否決されてしまいました。

■ ワイン醸造所へ補助金

昨年東御市はワイン特区に認定されましたが、今回の補正で醸造所への補助金4886万円が承認されました。総事業費は1億円、2万本のワインの製造を目指します。地域活性化につながることを期待します。



市民に開かれた議会をつくるために！

いま東御市議会では市民に開かれた議会を目指し、議会改革委員会を中心にして議会改革に取り組んでいます。現在までのところ議会報告会の開催が決まっています。

■ 議会改革への取組み

昨年の選挙の中で市民の方々から異口同音に指摘されたのは「議会は何をやっているかわからない」「議員の顔が見えない」ということでした。議員に対する市民の皆さんの目線の厳しさを感じています。一般の市民はなかなか市議会を傍聴することなどできません。市民に対して議会が見えていないことが問題です。

こうした中で多くの市町村議会では議会改革に取り組む、須坂市や小諸市、軽井沢町では議会が市民の声を聞く、議会報告会を開催しています。

東御市議会においても数年前から議会改革に取り組む、議員定数の削減や政務調査費の制定などを実施してきました。これをさらに推し進めるため議会改革委員会が組織され、市民に開かれた議会を目指して検討が始まっています。



(写真)軽井沢町で行われた議会報告会

■ 議会報告会の開催

議会改革委員会には私もメンバーの一員としてかかわってきています。その結果、議会報告会の開催が正式に決定しました。

議会報告会とは、議員自ら直接市民の皆さんに議会で決まったことを報告し、ご意見をお聞きする会です。これが開かれた議会への第一歩になればと願っています。

■ 議会改革—私の5つの提案

私はさらなる議会改革のために、以下の5つの点について提案いたします。

- 1 **一般質問は一問一答方式で**
これまで一括して質問していましたが、わかりやすい一問一答方式にします。
- 2 **一般質問のインターネットでの公開**
傍聴できない市民のために一般質問を映像化しインターネットで発信します。
- 3 **議案に対する賛否の公表**
議員の責任を明確にするために議案に対する賛否を「議会だより」で公表します。
- 4 **全市的課題は住民投票で**
議員は市民からすべて委任されているわけではありません。全市的な重要課題は市民一人ひとりの投票で決めます。
- 5 **議会基本条例を制定**
以上のことを実現するため東御市議会基本条例を制定します。

編集後記 一ご意見・ご感想をお寄せください。

- ▼ 先日「市民病院への要望を語る会」に出席しました。病院に市民の声を聞いてほしいという思いで始まった有志の会はすでに2年目。この度、情報紙「要望を語る会だより」が発行されました。「病院と市民が支えあったりできる絆になれば」とは世話人さんの弁。市民と医師と行政がともに手を携えて、よりよい病院をつくることができたらと思っています。
- ▼ 新政権のムダな公共工事だと指摘されたハツ場ダムを見てきました。国道脇に巨大な橋脚が建ち、すでに山の中腹に道路やトンネル、住宅団地が建設されていました。ムダな公共工事ということは理解できるのですが、それで振り回されてきた地元の皆さんのことを考えると思いは複雑です。
- ▼ 「議会だよりお金大変じゃない？」とのご意見をいただきました。ご心配いただきありがとうございます。おかげさまで格安印刷を利用しているので、カラーでも1回2万円ほどの負担ですんでいます。
- ▼ わが家はブドウ農家です。今年は開花期の低温や長雨の影響で作柄はいまひとつでした。しかし相手はお天道様です。一年一年が挑戦です。

■ ブログをご覧ください

ブログに議員活動を掲載しています。

http://blog.goo.ne.jp/dragonfly_nagano/

(「若林みきおの議員日誌」としても検索できます)